



佐野短期大学学報

か た く り



ACCREDITED
2005

本学は平成17年度助
短期大学基準協会によ
る第三者評価の結果、
適格と認定されました。

発行/佐野短期大学

栃木県佐野市高萩町1297 電話 (0283) 21-1200

入学特集号



祝入学



(撮影 森田拓男)

大学の主な行事

(春期)

- 4月4日 入学式
- 6日 オリエンテーション (8日迄)
- 9日 1年生学外合宿研修 (10日迄)
- 13日 春期授業開始
- 5月1日 創立記念日
- 11日 介護2年居宅訪問実習 (6月6日迄)
- 6月8日 児童2年教育実習 (26日迄)
- 9日 社会2年在宅サービシ見学実習
- 7月15日 英語スピーチコンテスト
- 8月6日 夏期休業開始 (9月26日迄)
- 14日 社会2年現場実習(9月4日迄)
- 14日 P S U 1ヶ月留学出発 (9月9日迄)
- 17日 児童2年保育実習Ⅱ・Ⅲ (31日迄)
- 31日 介護2年介護実習Ⅲ (9月26日迄)
- 9月7日 栄養2年学外実習Ⅰ・Ⅱ (18日迄)
- 10日 児童2年保育実習Ⅰ (29日迄)
- 12日 さのタンキャンブ (15日迄)
- 20日 P S U 3ヶ月留学出発 (12月15日迄)
- 25日 秋期オリエンテーション
- 26日 夏期休業終了

新入生に贈るメッセージ



「師弟ノ和熟ハ 育英ノ大本ナリ」

理事長 浦田 奨

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
 本学の経営母体であります学校法人佐野日本大学学園は昭和 39 年に設立されました。同時に佐野日本大学高等学校を開校し、今年で 46 年目を迎えました。その間、昭和 63 年に佐野日本大学中学校の開校、平成 2 年には地元佐野市の熱心な要請により佐野女子短期大学（現在の佐野短期大学）を開学しました。また、平成 14 年には社会福祉学科の学生の臨床研究の場として、社会福祉法人桜和会・特別養護老人ホーム大栗の里が開設され、平成 16 年同法人におおぐり保育園を開園、平成 19 年に学童保育所おおぐりこどもクラブが開所され今日に至っています。本学園は創立以来、地域社会から信頼の得られる学校づくりに、教職員が一丸となり取り組んでまいりました。その結果、本学園は佐野市に、幼児から高齢者にまで関する施設を持つ、北関東でも有数の総合学園とし発展することができました。特に本学の教育においては、高度な実学中心の即戦力となる人材の育成に努め、多くの卒業生は社会の中核として、各分野において高い評価をいただいています。

さて、本日の入学式は、高い志を持ち、意欲を燃やす新入生の皆さんが一同に会し、明日から始まる佐野短期大学での勉学や生活について決意を新たにする場でもあります。そこで、私は皆さんにお話ししておきたいことがあります。佐野短期大学での授業は今までの高校の授業とは違って、知識とともに物の考え方や学問の仕方を教え、なぜ、どうして、といった皆さんの知的好奇心を刺激するためのものです。こうした学習のあり方は皆さんが社会に出て、未知の問題に出会った時に必要となります。それだけに自ら問題を発見し、自分で思考し結論に導くという、能動的に課題に取り組む姿勢が強く求められます。知識は時代とともに新しくなります。常にこれを学んで行く必要があります。物の見方、解決の方法といった勉学への取り組み方はいわば普遍的なことであり、これを学生時代に習得することは、勉強だけではなく皆さんの人格を形成し、これからの人生の基礎を築くうえで最も大切だと思います。皆さん、本学には優秀で教育熱心な先生方が多数おられます。夏目漱石も旧制第五高等学校の入学式で「夫レ教育ハ建国ノ基礎ニシテ師弟ノ和熟ハ育英ノ大本ナリ」と述べています。皆さんとの関係が将来にわたって続くであろう師との出会いを大切にしてください。そして、皆さんは、どんな困難なことに当たっても、最後まで諦めず、強い意志を持ち続けてください。これからの 2 年間、悔いのない充実した毎日を送られることを期待して挨拶いたします。



社会人としての基礎力を

学園長 池田 健次

春爛漫桜の花も満開となり萌えるような春の息吹を感じる今日の佳き日に平成 21 年度佐野短期大学の入学式を執り行い 271 名の新入生が入学を許可されました。新入生のご入学を心から歓迎しておめでとくと申し上げます。

ご列席を賜りましたご父母の皆様方に対しましても謹んでお祝いを申し上げます。

さて、新入生諸君は、本日から本学で 2 年間の学園生活が始まります。

本学は、「想う人、考える人、行う人」を教育目標に掲げ、実学優先の基本理念のもとに人材の育成に努めてきました。これまでに学生諸君の努力と教職員の指導が相まって 8 年間連続 100% の就職率を達成してきました。新入生諸君も本学の教育理念を理解されて、先輩達が築きあげた伝統を受け継ぎ 2 年後には立派な社会人になることを期待しています。大学生生活は社会人となる為の準備期間です。強い意志と将来への確たる目標を持ち、2 年間たゆみなく学識を高める努力を継続して下さい。自分を磨き知性を向上させて社会人としての基礎力を身につけることが肝要です。

人の優劣はその人がどれだけ精一杯努力をしてきたかで決まるのです。

「強い意志と力があれば自分の決めた通りの人間になり得て目標に到達することが出来る」とある聖者が言っています。彼は一人の大工の例を挙げて語っています。

ある日の事その大工は知事が腰を掛ける椅子の修理を命じられカンナをかけていたが、その仕事ぶりがあまりに丁寧過ぎるので傍らで見ていた人が理由を尋ねるとこう答えました。「実を言うと私が、この椅子に腰をかける日の為に少しでも座り心地を良くしておこうと思った迄のことなんです」と……

不思議なことに大工は、その後本当に知事となりその椅子に腰をおろしたと云うことです。これは、大きな目標をもって精一杯努力を続けていけば必ず成果を挙げることが出来ることを教えているのです。

又、人生は人と人との出会いから始まります。人との交わりの中で我々は様々なことを学びます。人間は多かれ少なかれ他人の援助や支えなしでは生きていかれません。良き友人を沢山つくり学生生活を共にし、互いの個性や長所短所を認め合い受け入れてこそ、互いの能力を活かすことが出来るのです。友人達と切磋琢磨し努力する事が学生生活の大切な要素です。勿論学問を第一とし、社会生活に必要なルールや教養を深め、社会の仕組みや問題を考え、自らが様々な経験や理論の学びから答えを出して行くことが必要なのです。努力なくして栄光は掴みえないのです。社会の各企業で働く人材に求められる課題は、社会人としての基礎力が、どの様に身に付いて自らの力になっているかと云うことです。諸君は二十一世紀の担い手です。悔いのない充実した学園生活を過ごされて、佐野短期大学の伝統に輝きを添えて下さるよう期待しています。

新入生に贈るメッセージ



判断力を養うために

こしみず まさる
学 長 興水 優

2009 年度新入学の皆さん、ご入学を心からお祝い申し上げます。

皆さんは、いま眼前の世界が開け、時の流れをほしほしに進む思いで、期待と夢に満ちあふれていることでしょう。きっと、短大の生活が始まったら、あれもしたい、これもしたい、あれも出来る、これも出来る、と、心が弾んでいることと思います。

しかし人間だれしも、新しいスタートを切る時に、ふと不安な気持ちが頭の隅をよぎることがあります。高校まで歩んで来た学校生活とは異なる、新しい環境への適応や、選択した学科・専攻への適合など、各人それぞれに求めるものが大きければ大きいほど、心中ひとり悩むことがあるかも知れません。しかし、佐野短期大学は、皆さんが在学中に、あるいは卒業後に、この学校に入学してよかった、この先生の教えを受けてよかった、と感じられるように、教職員が丸となって力を尽くします。皆さんは学業に諸活動に精いっぱい打ち込んでください。短大の 2 年間は、専門知識を学ぶだけでなく、知識を現実運用する技能も会得しなければなりません。短大で知識と技能を身に付けることにより、将来、皆さんは社会に貢献できる自立した人間に成長し、社会が認めてくれるのです。

学園生活では、知識や技能を身に付けることが求められますが、さらに人間性を深めることも必要です。将来、さまざまな場面で皆さんの人間形成が問われ、また判断力が問われます。これまでは、必ずしも自身で判断せずに、流れに従って物事を処理していたかも知れません。しかし、これからは自らが判断力を養い社会人として成長して行かなければなりません。判断力をどのように養うのか。それは皆さんの今日からの課題です。

ここで私は、誰にでもできる心掛けをお話しておきます。

まず第一に、学園生活の 2 年間により多くの友だちを作ってください。さまざまな個性とふれあい、さまざまな思考をする友人から学べるものは計り知れません。なかには、あまり友だちをつくるのがうまくないと思いついて入っている人がいると思います。しかし、学園生活では実習や研修などの機会が多く、生涯にわたるかけがえのない友人にめぐり会えると思います。

第二に 1 冊でも多くの本を読むことも必要です。読書は自分の目の届かない世界にまで視野を広げてくれます。何よりも、読みながら自然に自分で考える習慣が身に付き、判断力の根底が築けるのです。よき本、そしてよき友人とのめぐり合いは人生を豊かにします。

2 年後の皆さんの成長した姿に期待しています。



Let's Learn Together

英米語学科長 教授 ジョン・デイリー

Welcome to the English Department at Sano College. Teachers and staff hope that you will enjoy your two years with us, that you will become better at communicating in English, and that, as a person, you will continue to develop your individuality.

そして、まだ、そんなに英語の出来ない学生さんも、英米語学科へようこそ。これから 2 年間、努力すれば、満足できるほど英語コミュニケーション能力が上達した卒業生になるでしょう。英語習得への道は、生涯続く旅です。一緒にはじめましょう。



Challenge and Upgrade!

経営情報科長 教授 稲見 崇 司

入学おめでとうございます。これから始まる短大での学園生活は、皆さんの人生の中でとても重要な意味を持つ時間になります。失敗に臆することなく、積極的に新たな目標に向かってチャレンジし、知識・判断力・社会性を磨いていってください。2 年間はあっという間に過ぎてしまいますが、時間の使い方大きく自らをアップグレードすることができます。1 つ 1 つの行動を大切に、周りへの小さな気配りを学び、切磋琢磨する友人との絆を作り上げ、実り多い学生生活を送ってください。



福祉マインド豊かな専門性に立つ 教養人をめざして

社会福祉学科長 教授 藤原 保 利

ご入学おめでとうございます。皆さんはこれから 2 年間この学び舎でそれぞれの専門職者を目指して勉学に励まれることになるわけですが、「ローマは一日にして成らず」の例え通り、日々の着実な研鑽によるのみ自らの人生が切り拓かれ、専門職者としての自立への道も可能となるわけです。したがって、もう一度「学ぶということ」、「働くということ」、そして「生きるということ」のそれぞれの深い結びつきを自己の問題として深く受けとめ、今この瞬間を大切に、福祉マインドの豊かな専門性に立つ教養人を目指して、自己実現を図っていただきたいと思います。この 2 年間共に一生懸命頑張りましょう。

人 事

() は前任

〔新規採用〕＜H21.4.1＞

特任講師	佐藤 佳子	[社会福祉専攻]
兼任講師	伊藤 優子	[英米語学科]
	加藤 豊子	[経営情報科]
	河野 克彦	[介護福祉専攻]
	松岡千恵子	[児童福祉専攻]
助 手	関 なつみ	[栄養福祉専攻]
兼任助手	及川 和	[栄養福祉専攻]
	本田 愛美	[栄養福祉専攻]
進路指導課	土澤 友美	

〔任用換え〕＜H21.4.1＞

兼任講師	寺内 正毅	(特任教授)
------	-------	--------

〔昇 格〕＜H21.4.1＞

専任講師	藤田 睦	(助手)
	森田 悠子	(助手)
	橘 由美	(助手)

〔退 職〕＜H21.3.31＞

特任教授	清水 祥子	[栄養福祉専攻]
	寺内 正毅	[経営情報科]
特任講師	菊地 政隆	[児童福祉専攻]
兼任講師	町田 龍一	[英米語学科]
	吉田 勇	[経営情報科]
	山田 昌子	[経営情報科]
	中川 高行	[経営情報科]
	河藤 佳彦	[経営情報科]
	中野 善達	[社会福祉専攻]
	吉野 真弓	[社会福祉専攻]
	田中 康文	[介護福祉専攻]
	寺内ミチ子	[栄養福祉専攻]
	関口 初枝	[栄養福祉専攻]
	田中 直代	[栄養福祉専攻]
兼任助手	渥美 佑太	[栄養福祉専攻]
進路指導課	村野 洋子	

平成 21 年度 各種委員会委員長

常置委員会

学務委員会	古川 慎一
学生生活委員会	佐藤 秀一
進路指導委員会	長江 庸泰
図書委員会	大室 精一

特別委員会

入学試験委員会	輿水 優
FD・将来構想委員会	輿水 優
危機管理委員会	輿水 優
自己点検・評価委員会	大室 精一
広報委員会	國分 三郎
公開講座委員会	穂積 元
教職課程委員会	藤原 保利

セクハラ相談員

下記の教職員が相談に応じます。相談の内容については秘密を守り、相談者の不利益にならないよう十分に配慮します。お気軽にご相談ください。

輿水 優、ジョン・デリー、稲見 崇司
立川 聡子、和田 晴美、森 千佐子
秋山真奈美、高橋登美子、高木 道代
藤田 睦、乙守 貴正、山口 宮子
堤崎 真里

学報編集委員

國分三郎、立川聡子、大熊信成、和田晴美、
新井文子、山内健次、松崎勇人、森田悠子、
大橋義成、齋藤 彩、森田拓男

